

# 平成14年度決算に 対する各会派の見解

## 区民のための構造的な改革を

公明党議員団

平成14年度は、公明党がかねてから要望していた小学校入学前までの乳幼児医療費の完全無料化、小児初期救急医療体制の整備、学校耐震補強工事、高齢者福祉住宅の整備、東京警察病院建設の着実な進展、障害者の民間作業所「第5杉の子」開設助成などの事業が実施されました。

行財政5か年計画の推進により、人件費の削減効果が見られてきているものの、都区財調、利子割交付金などの減少で実質単年度収支

## 区民と情報を共有しよう

自由民主党・民社クラブ

平成7年度以降、職員削減に努め、平成14年度の145人を加え7年間で約560人を削減したことは、財政再建の柱として評価できます。財政調整基金へ27億円を積み立て、その残高を56億円に増やし全基金残高も85億円まで増えました。また23区で最低水準で、施設の老朽化による改築・改修経費、今後10年間は5人に2人が退職するその退職金をはじめ、一時的に多額の財源を要する要因があり、これらに備えるさ

## 区民のくらし第一の改革を

日本共産党議員団

区民と党区議団が求めていた小児救急医療体制や乳幼児医療費助成の充実、第5杉の子作業所開設支援、介護保険利用料軽減など区民の要望にそった事業が実施されたことは評価できます。しかし、「行財政5か年計画」にもとづき、中学校修学旅行参加費補助や中野授産場の廃止、保育園や特養ホーム等の民営化など区民施策の切捨てがさらにおしすすめられました。

予算で切り縮めておきながら30億円を使い残し(不

## 一層の改革で地域の活力を

TOKYO自民党中野区議団

平成14年度決算は、経常収支比率が89・9%と上昇し、今後の財政の展望は決して容易なものではありません。歳入は特別区税、特別区交付金とともに減少しており、景気の低迷が区財政に重く影響しています。

区有地の売却など、いわゆる財源対策が行われてもいます。歳出では、行財政改革で職員数が減ったことで、人件費が減り、公債費も減少しましたが、義務的経費比率は、なお高い水準にとどまり、区財政の硬直性を

## 見直しから建て直しへ!

民主クラブ

平成14年度決算は、前年度の実質収支の大幅な黒字のありを受け、財政状況を示す数値に悪化が見られるものがありました。こうした中でも、職員数の削減による人件費の抑制や、財政調整基金の積み立てなど、財政健全化への努力が見られます。しかし一方で、区民の理解は到底得られない職員の退職時の名誉昇給制度などは即時見直す必要があります。また文化・スポーツ振興公社で発覚した横領事件に見られるように5年

## 未来に負の遺産を残すな!

無所属の会

私たちは、当初それぞれが1人での議員活動を選択しましたが、党派政治の壁に突き当たり、新たな会派のあり方を模索し「無所属の会」を結成いたしました。それぞれの自由な立場から、今回の決算に関しても、忌憚のない活発な議論を重ね、本来の決算とは何なのか、妥協せず可能な限り合意形成を図ってまいりました。

決算は区民の方に区の財政状況が十分伝わる内容であるべきです。

## 持続可能な区政への一歩

市民自治

閉塞した前区政を大きく変える一歩が新区長によって踏み出された02年度決算となりました。

区長の区政運営の理念通り、区長給与の削減、毎月2回の区民との直接対話、区長交際費や庁議の概要の公開等が実行され、補正予算では区民、職員の幅広い参加による新たな基本構想の策定、財政見通しの立たない上野原等の施設建設計画の廃止による経費節減、江古田の森整備等、長年の懸案事項への積極的な取り

### 中野区議会ホームページをご利用ください

中野区議会では、いち早く区民のみなさまへ情報をお届けするため、ホームページを開設しています。会議録、議員紹介、区議会からのお知らせなどがご覧いただけます。是非ご利用ください。

中野区議会ホームページ

URL <http://kugikai.city.nakano.tokyo.jp/>